

地域福祉フォーラム

令和7年2月11日

大田区社会福祉法人協議会(福祉ネット)  
について

社会福祉法人 大洋社  
常務理事 齋藤 弘美

大田区社会福祉法人協議会

おおた福祉ネット

で  
福<sup>え</sup>  
祉<sup>ん</sup>  
を

ネ  
ッ  
ト  
ワ  
ー  
ク

む  
す  
ぶ

大田区社会福祉法人協議会

おおた福祉ネット

お問い合わせ

大田区社会福祉法人協議会 おおた福祉ネット事務局

(大田区社会福祉協議会 計画・組織基盤・人材育成担当)

TEL:03-3736-2023 FAX:03-3736-2030

## 大田区社会福祉法人協議会 おおた福祉ネット

おおた福祉ネットは、区内に施設・事業所をもつ「社会福祉法人」のネットワーク体です。

これまで、分野ごとに縦割りだった福祉。そこに横のつながりを、と導入された法改正。それをチャンスに変えたいという思い。

福祉の現場でいままで手を差し伸べられなかった人にもっと柔軟な支援を提供したいという思い。

多様な悩みをかかえる人たちの身近な相談役になり、最適などころにつなげたいという思い。

これらの思いを法人／拠点間でつなぎ、地域の自治会・町会や民生委員児童委員、そして、みなさんと、共に福祉に向き合うために、

ネットワークで福祉の「縁(えん)をむすぶ」存在となる。これが、おおた福祉ネットのミッションです。

### 【社会福祉法人とは？】

社会福祉事業を行うことを目的として社会福祉法にもとづいて設立されている法人です。公益性の高い、非営利法人であり、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ公正に行っています。高齢者、子ども、障害者、生活困窮者など、さまざまな生活課題や福祉ニーズをもつ方の生活を支援しています。

2015年 7月	<b>第1段階</b>	<b>大田区社会福祉法人協議会設立</b> 大田区内の社会福祉法人が連携して地域課題に取り組む体制が生まれる
2015年 10月	<b>第2段階</b>	<b>地域連携公益事業</b> おおたスマイルプロジェクトを発足し、複数法人が強みを活かした新しい連携と提案
2017年 10月	<b>第3段階</b>	<b>全体化・現場階層・働く支援へ</b> 分野を超えた働く支援「おおた福祉カレッジ」で働くを支える
現在	<b>第4段階</b>	<b>地域共生社会へ</b> エリア作り、種別・業種を超えた地域連携 社会福祉法人 + 自治会・町会・民生委員児童委員 + 行政・医療・NPOほか地域の団体等
未来	<b>ゴール</b>	<b>大田区に住む人たちが 生きやすい街</b>

## 活動紹介

### PROJECT 1 福祉人材の確保・育成・定着をめざして おおた福祉カレッジ

少子高齢化の進展とともに、福祉サービスに対するニーズも急増しています。介護分野をはじめ、保育分野、障害福祉分野などで福祉サービスを必要とする方々(利用者)が、安心して生活できるよう支えていくためには、福祉サービスを担う福祉人材(福祉従事者)を更に増やしていく必要があります。現に、福祉の人材不足は、私たち大田区社会福祉法人協議会に加入する法人の共通する深刻な課題となっています。一方で、利用者の方に、より良いサービスを継続して提供していくためには、福祉従事者の方にとって働きやすい職場環境をつくり、定着を図っていく必要があります。このため、私たちおおた福祉ネットは、『福祉人材の確保・育成・定着』を目的に「おおた福祉カレッジ」事業に取り組み、福祉人材の確保を目的とした「ふくしのしごと市(相談・面接会)」を実施しています。



### PROJECT 2 複数法人による 強みを活かした新しい連携 おおたスマイルプロジェクト

**3つの「れいんぼう」**  
れいんぼうには、「子ども・若者・ひとり親の人たちが、社会と接点を持ちながら生きる力を身につけてほしい」と考え、子ども支援「キッズれいんぼう」、若者支援「JOY」、母親支援「ママれいんぼう」の3つがあります。この事業を通して、いつでも社会とつながり、生きる力を身につけられることを知ってほしいと考えています。

**「れいんぼう」のプログラムと法人連携**  
「れいんぼう」の一つ、子ども支援「キッズれいんぼう」は、大田区に住むひとり親の子どもに対して、社会との接点を持ちながら様々な体験をする子どもの居場所の確保を含む体験型学習支援事業を行っています。内容は「学ぶ」「食べる」「動く」「体験」する4つのプログラムで、区内二か所を実施しています。実施にあたり、区内の社会福祉法人「児童・大洋社」「社協・大田区社会福祉協議会」「高齢・池上長寿園」「障がい・大田幸陽会」の4法人で協力しながら事業を運営しています。キッズれいんぼうの取組みは、大田区社会福祉協議会のホームページにて活動内容のブログが掲載されています。その他に、若者支援や母親支援においても、近隣の社会福祉法人と連携して事業を行っています。

### 「れいんぼう」の4つのプログラム

<b>学ぶ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・英語・PC (検定)</li> </ul> ネットとの付き合い方 英語と親しむ 学ぶ姿勢	<b>食べる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習</li> <li>食育</li> </ul> 食事作りを楽しむ 一緒に食べるを楽しむ 食の思い出を作る
<b>動く</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康支援</li> <li>プチ農業体験</li> </ul> 体を動かしセルフメンテ 地域・異年齢交流 命・成長・大事を育てる	<b>体験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども民生委員活動</li> <li>仕事見学/体験</li> </ul> 社会性を育む 色々な仕事を知る 将来の夢を持つ



# おおた福祉ネットの 各エリアの取組状況

## 大森エリア

大森エリアでは、各法人の情報カタログづくり、食の支援、法人間での研修の中から取り組みたいテーマを選択して企画や運営をすすめています。

食の支援を検討するグループでは、20代の若者たちの孤独感が強いことが「内閣府の孤独・孤立の実態把握に関する全国調査」で明らかになっていることや、暮らしの困りごとがあったとしても相談につながりにくいことに着目しました。その結果、若者や地域に暮らす人たちが、ゆるやかに他者や必要な情報につながるきっかけをつくるため「大田区若者サポートセンターフラットおおた」と連携・協働してイベントを開催しました。

今後も地域のニーズや各法人の意向をふまえつつ、活動を展開していきます。



## 蒲田エリア

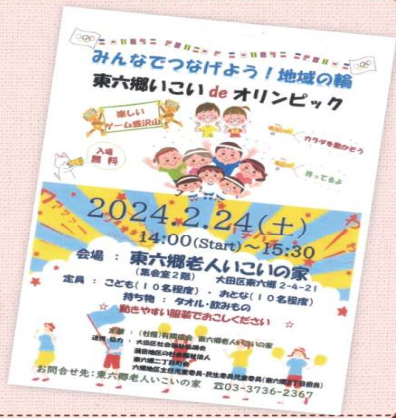
蒲田エリアでは、東六郷老人いこいの家を活用した多世代の居場所づくりを実施しました。

いこいの家を利用されている高齢者と地域の気になる子どもたちの居場所として、プレイベントとして「東六郷いこいdeオリンピック」を開催し、高齢者11名 子ども10名の21名が参加して、ゲームを楽しみました。

イベントを通じて地域の高齢者と子どもが顔見知りになり、挨拶が交わされるようになりました。

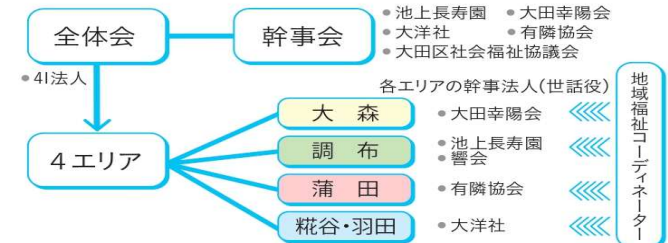
いこいの家が登録している「子どもSOSの家」として子どもたちが困った時に助けを求めやすくなることにもつながりました。

ここでのつながりづくりが更に大きな支援の輪をとっていきよう取り組みを進めていきます。



## おおた福祉ネットの エリア展開とは？

大田区の4つの地域庁舎の圏域をひとつのエリアとし、各エリア内の法人と地域福祉コーディネーターが、地域の特性やニーズに応じた活動を展開する取組みです。



## 調布エリア

調布エリアでは、令和5年度より、年に2回「幸せのおすそわけ会(フードントリー)」を田園調布と嶺町地区の2か所で行っています。

食の提供だけでなく、社会福祉法人の強みを活かして、相談につながる仕掛けを行い重層的支援体制整備事業の「住民に身近な相談窓口」を意識して実施しました。

また、令和6年11月から調布エリア内の6地区の特別出張所管内ごとに、社会福祉法人の施設や地域包括支援センターでフードドライブを開始しました。

今後も調布地区内のどこでも、食品のおすそ分けができ、食品を必要な方に届けられるしくみづくりを社会福祉法人のネットワークの力を活かして推進していきます。



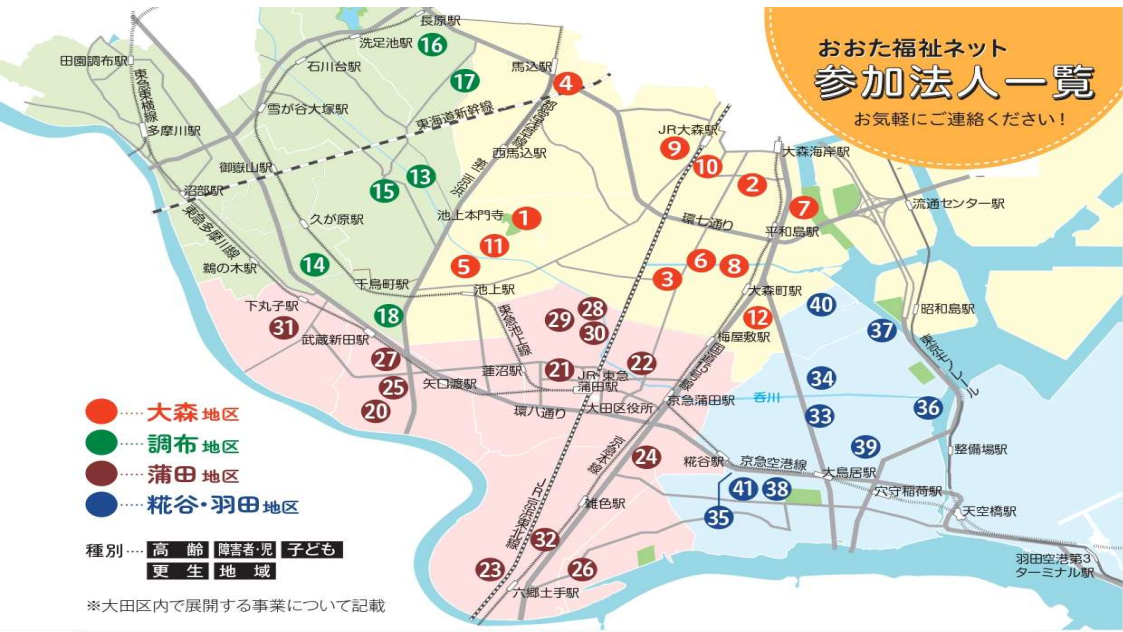
## 糎谷・羽田エリア

糎谷・羽田エリアでは、地域課題や重層的支援体制整備事業に取り組むことについて協議し、まずは各法人相互の取組を知ることが重要であるとして、法人相互の行事への参加や交流を実施し、そこから地域の傾向や特性が見えるようになりました。

また、地域の中には複合的な課題を抱えた家庭が多く、特に介護問題から他の問題が見えてくることなどが事例検討等を通じてわかってきました。そこで、地域のおまつりにブース出展し、身近に様々な種別の施設や相談の場があることを知ってもらいきっかけづくりにつなげました。

今後も継続してこのような取組を実施し、地域での情報発信とネットワーク強化に努めます。





種別... 高齢 障害者児 子ども  
更生地域

※大田区内で展開する事業について記載

## 大森地区

- 1 **恒明会** 子ども  
 住所: 池上1-13-3  
 電話: 3754-1600
- 2 **島田福祉会** 子ども  
 住所: 大森北3-3-5  
 電話: 6404-9100
- 3 **松風会** 高齢  
 住所: 大森西4-12-1  
 電話: 6436-8899 [ウェブサイト: www.hanamizuki-syohukai.jp](http://www.hanamizuki-syohukai.jp)
- 4 **つばさ福祉会** 子ども  
 住所: 南馬込1-9-1先  
 電話: 6809-9450 [ウェブサイト: www.tsubasa-f.or.jp](http://www.tsubasa-f.or.jp)
- 5 **東京愛成会** 子ども  
 住所: 池上3-29-8  
 電話: 5747-4747 [ウェブサイト: www.sh-aiseikai.jp](http://www.sh-aiseikai.jp)
- 6 **東京コロニー** 障害者児  
 住所: 大森西2-22-26  
 電話: 3762-7611 [ウェブサイト: www.tocolo.or.jp](http://www.tocolo.or.jp) / [www.tocolo.or.jp/oota](http://www.tocolo.or.jp/oota)
- 7 **東京蒼生会** 高齢  
 住所: 大森本町2-2-2  
 電話: 3762-8851 [ウェブサイト: www.t-souseikai.or.jp](http://www.t-souseikai.or.jp)
- 8 **同愛会東京事業本部** 障害者児  
 住所: 大森西3-3-9  
 電話: 3763-8739 [ウェブサイト: www.hyuman.com](http://www.hyuman.com)
- 9 **婦人の園** 障害者児  
 住所: 山王2-12-10  
 電話: 5743-7676 (本部) 0550-78-1260 (インマヌエル)
- 10 **やまて福祉会** 地域  
 住所: 大森北1-11-1 柳原大森ビル6F  
 電話: 6423-0251 [ウェブサイト: www.yamate-fukushi.org](http://www.yamate-fukushi.org)
- 11 **立正福祉会** 障害者児 子ども  
 住所: 池上1-32-15  
 電話: 3754-4855 [ウェブサイト: www.rissho-fukushi.or.jp](http://www.rissho-fukushi.or.jp)
- 12 **わかば** 子ども  
 住所: 大森中1-14-1  
 電話: 3764-0221 [ウェブサイト: www.soranoie.jp](http://www.soranoie.jp)

## 調布地区

- 13 **池上長寿園** 高齢  
 住所: 仲池上2-24-8  
 電話: 5700-6171 [ウェブサイト: www.ikegami.or.jp](http://www.ikegami.or.jp)
- 14 **いまいずみ** 子ども  
 住所: 南久が原2-30-5  
 電話: 3756-0505 [ウェブサイト: www.unoki.imaizumi.or.jp](http://www.unoki.imaizumi.or.jp)

- 15 **お告げのフランシスコ姉妹会** 子ども  
 住所: 久が原4-2-1  
 電話: 3753-6768 [ウェブサイト: www.otsuge-francisco.org](http://www.otsuge-francisco.org)
- 17 **響会** 高齢  
 住所: 上池台5-7-1  
 電話: 3748-6162 [ウェブサイト: www.hibikikai-tokyo.or.jp](http://www.hibikikai-tokyo.or.jp)
- 19 **カリヨン子どもセンター** 子ども  
 住所: 非掲載  
 電話: 3726-5200 [ウェブサイト: www.carillon-cc.or.jp](http://www.carillon-cc.or.jp)

- 16 **救世軍社会事業団** 子ども  
 住所: 上池台4-12-10  
 電話: 3729-0357 [ウェブサイト: www.kiekoryo.salvationarmy.or.jp](http://www.kiekoryo.salvationarmy.or.jp)
- 18 **兵庫福祉会** 高齢  
 住所: 千鳥2-34-25  
 電話: 5741-8500 [ウェブサイト: www.chidori.tokuyou.jp](http://www.chidori.tokuyou.jp)

## 蒲田地区

- 20 **桜灯会** 高齢  
 住所: 矢口3-11-3  
 電話: 6715-4373 [ウェブサイト: www.outokai.com](http://www.outokai.com)
- 22 **蒲田保育園** 子ども  
 住所: 蒲田1-20-6 (連絡先事務所: 萩中2-13-16)  
 電話: 3745-4890 [ウェブサイト: www.kamatahoikuen.jp](http://www.kamatahoikuen.jp)
- 24 **長寿村** 高齢  
 住所: 東六郷1-12-12  
 電話: 3736-1211 [ウェブサイト: www.chojumura.or.jp/ota](http://www.chojumura.or.jp/ota)
- 26 **東京都手をつなぐ育成会** 障害者児  
 住所: 南六郷3-23-8 (大田区立南六郷福祉園)  
 電話: 3732-2940 [ウェブサイト: www.ikuseikai-ky.or.jp](http://www.ikuseikai-ky.or.jp)
- 28 **ヒューマン・ネットワーク結** 障害者児  
 住所: 西蒲田4-4-1 2階  
 電話: 3751-7650 [ウェブサイト: www.entas.or.jp](http://www.entas.or.jp)
- 30 **プシケおおた** 障害者児  
 住所: 西蒲田4-4-1  
 電話: 5700-6352 [ウェブサイト: www.koujiya-center.com](http://www.koujiya-center.com)
- 32 **有隣協会** 高齢 更生  
 住所: 仲六郷4-2-12  
 電話: 3738-2563 [ウェブサイト: www.yurin.org](http://www.yurin.org)
- 21 **大田区社会福祉協議会** 地域  
 住所: 西蒲田7-49-2  
 電話: 3736-2023 [ウェブサイト: www.ota-shakyo.jp](http://www.ota-shakyo.jp)
- 23 **行道福祉会** 子ども  
 住所: 西六郷4-20-6  
 電話: 3738-1094
- 25 **徳心会** 高齢 障害者児  
 住所: 矢口3-1-5 総合福祉施設いずみえん  
 電話: 3759-5550 [ウェブサイト: www.tokushinkai.jp](http://www.tokushinkai.jp)
- 27 **白陽会** 高齢  
 住所: 矢口1-23-12 ゴールデン鶴亀ホーム  
 電話: 3758-1810 [ウェブサイト: www.hakuyokai.org](http://www.hakuyokai.org)
- 29 **扶社会** 子ども  
 住所: 西蒲田4-27-2  
 電話: 5747-3123 [ウェブサイト: www.fusoukai.ed.jp](http://www.fusoukai.ed.jp)
- 31 **みくに会** 子ども  
 住所: 下丸子3-21-17  
 電話: 3756-0469 [ウェブサイト: www.marukobaby.jp](http://www.marukobaby.jp)

## 糞谷・羽田地区

- 33 **桜花** 高齢  
 住所: 東糞谷1-13-6  
 電話: 6423-2860 [ウェブサイト: www.ooka.or.jp/senri](http://www.ooka.or.jp/senri)
- 35 **久盛福祉会** 高齢  
 住所: 萩中2-3-10  
 電話: 6423-9200 [ウェブサイト: www.amasagi.or.jp](http://www.amasagi.or.jp)
- 37 **大洋社** 子ども  
 住所: 大森南4-10-4  
 電話: 3741-7922 [ウェブサイト: www.taiyosha.or.jp](http://www.taiyosha.or.jp)
- 39 **なかよし会** 子ども  
 住所: 東糞谷4-2-14  
 電話: 3741-2054 [ウェブサイト: www.nakayoshikai.jp](http://www.nakayoshikai.jp)
- 41 **睦月会** 障害者児  
 住所: 萩中2-10-11  
 電話: 3745-0878 [ウェブサイト: www.mutsukikai.jp/company](http://www.mutsukikai.jp/company)
- 34 **大田幸陽会** 障害者児  
 住所: 大森南2-15-1  
 電話: 3745-0808 [ウェブサイト: www.ota-koyokai.or.jp](http://www.ota-koyokai.or.jp)
- 36 **善光会** 高齢 障害者児  
 住所: 東糞谷6-4-17  
 電話: 5735-8080 [ウェブサイト: www.zenkoukai.jp/japanese](http://www.zenkoukai.jp/japanese)
- 38 **知恵の光会** 障害者児  
 住所: 萩中2-12-23  
 電話: 5705-6531 [ウェブサイト: www.chienohikari.or.jp](http://www.chienohikari.or.jp)
- 40 **なぜの木会** 子ども  
 住所: 大森東5-2-11  
 電話: 3761-1357 [ウェブサイト: www.nazenoki-kai.jp](http://www.nazenoki-kai.jp)

地域福祉フォーラム

令和7年2月11日

大田区地域福祉コーディネーターの  
これまでとこれから

大田区社会福祉協議会  
地域共生担当係長

武藤 溪一

# 地域福祉コーディネーターとは

## 【東京都社会福祉協議会】

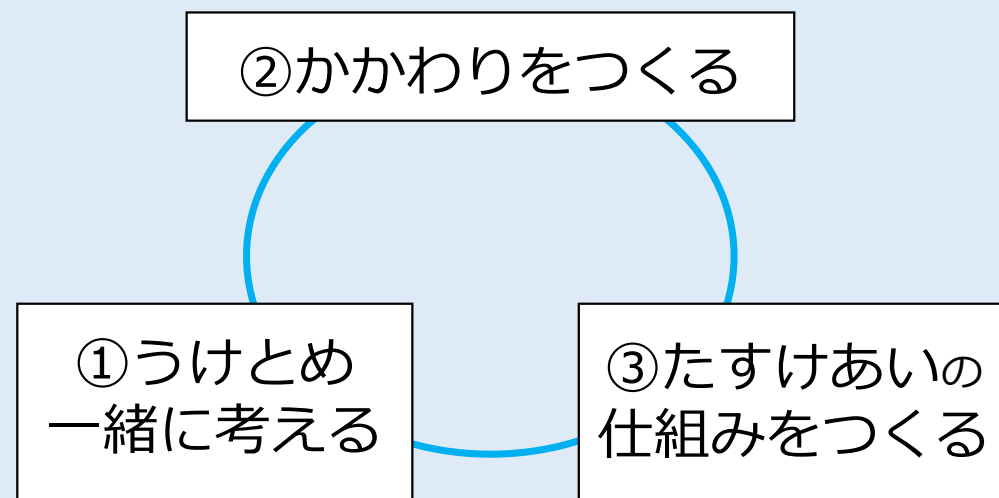
東社協では、「地域福祉コーディネーター」を「(1) 個別支援、(2) 小地域の生活支援のしくみづくり・地区社協等の基盤づくり、(3) 小地域で解決できない課題を解決していくしくみづくりという三つの役割を担い、一定の小地域圏域にアウトリーチして、住民と協働して問題解決に取り組む社協のコミュニティワーカー（専門職）」と定義し、配置・活動促進に取り組んでいます。

【東京都社会福祉協議会 福祉実践事例ポータルサイト 「東京の地域福祉コーディネーターが地域共生社会を切り拓く」】

## 【大田区社会福祉協議会】

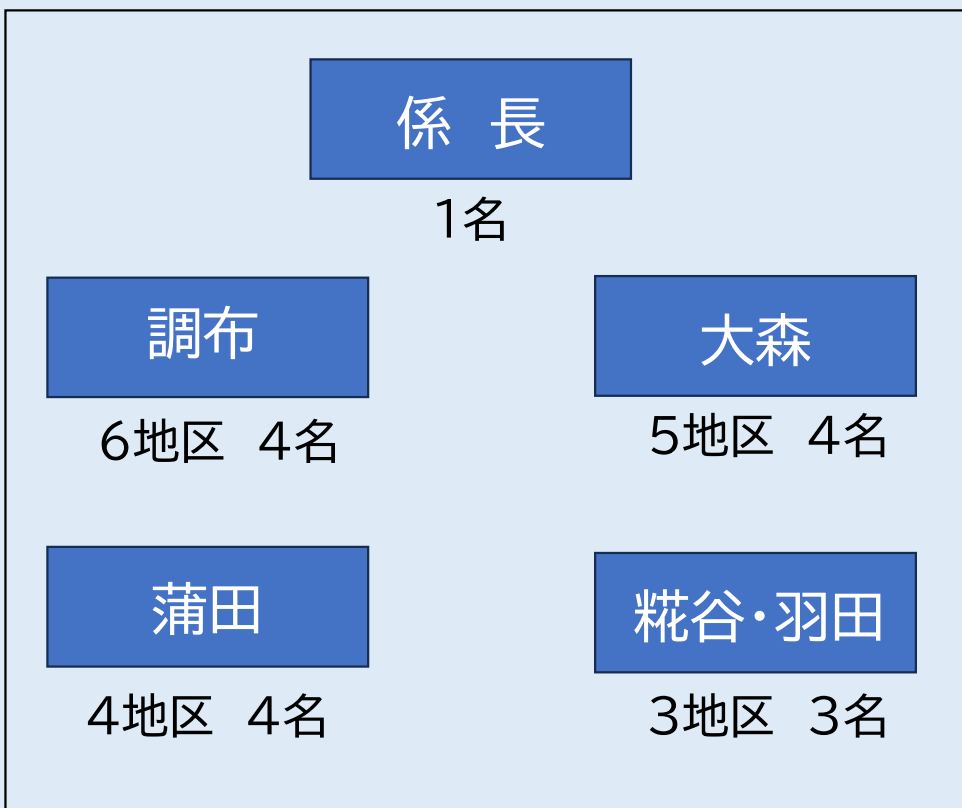
地域福祉コーディネーターは、①複雑化・多様化したニーズを包括的に受け止め②さまざまな事情で社会から孤立しがちな方の社会参加を支援し③だれもが役割と生きがいをもって生活できる地域づくりを地域の皆さま・大田区と一緒に取り組んでいます。

【大田区社会福祉協議会ホームページ】

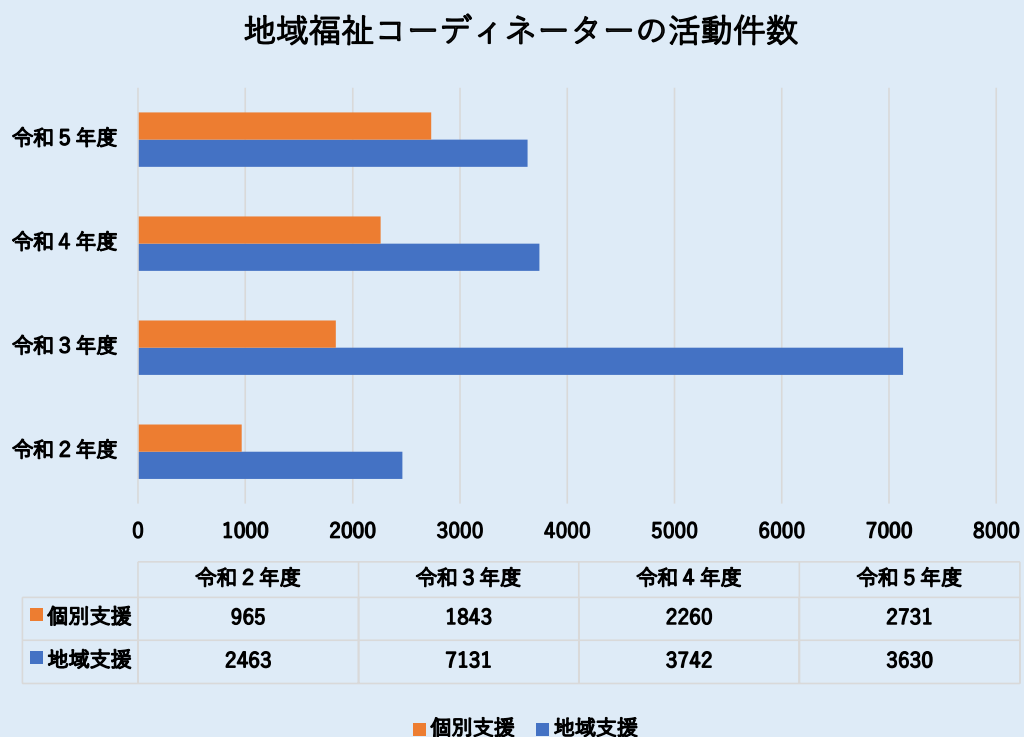


## 地域共生担当(地域福祉コーディネーター)の体制(令和6年度)

・コーディネーターは基本圏域へ複数配置



・配置人数の増に伴って活動数は上昇傾向





# 大田区地域福祉コーディネーターのこれまで

## ○地域福祉コーディネーター配置前の動き

### 【平成28年度(2016年)】

- ・ 地区担当職員の配置(18地区)

### 【平成29年度(2017年)】

- ・ 助け合いプラットフォーム事業モデル実施

年度	概要	配置人数
平成28年度	地区担当職員の配置	地区担当を日常生活圏域18地区に配置
平成29年度	プラットフォーム事業(協議体)の開始	4名(兼任)
平成30年度	地域福祉コーディネーターの配置	4名(兼任)
平成31年度 令和元年度	個別支援の展開(特例貸付) コロナ禍での地域支援	5名(専任)
令和		
令和3年度	4つの社会福祉法人での事業受託	13名(社協5名他法人8名)
令和4年度	重層事業の受託(移行準備)	13名
令和5年度	社会福祉法人協議会エリア展開の本格化 第7次地域福祉活動計画策定	15名

# 大田区地域福祉コーディネーターのこれまで

## ○助け合いプラットフォームとは

### 【目的】

福祉課題が複雑化・深刻化する中、今あるサービスやひとつの団体だけでは解決できない問題も、民生・児童委員や社会福祉法人、区民活動団体、専門家、行政などの関係機関（者）がそれぞれの強みを活かし、連携することで新たな資源の開発を行うなど、地域の皆さまによる自主的なたすけあいの仕組みをつくります。

### 【現在の実施地区】

「矢口」「蒲田西」「六郷」「池上(徳持南)」



【IZUMIEN CAFEでのプラットフォームの様子(矢口地区)】

# 大田区地域福祉コーディネーターのこれまで

## 【平成30年度(2018年)】

- ・ 地域福祉コーディネーターの配置【4名】・ 他業務との兼任(歳末助け合い募金等)
- ・ 地域支援のみの業務展開

## 【平成31年・令和元年度(2020年)】 5名(1名増)

- ・ 地域福祉コーディネーターの専任化
- ・ コロナ特例貸付⇒個別支援の本格実施

## 【令和2年度(2021年)】 5名

- ・ 包括配置の地域ささえあい推進員との連携・協働



# 大田区地域福祉コーディネーターのこれまで

【令和3年度(2022年)】 13名(8名増)

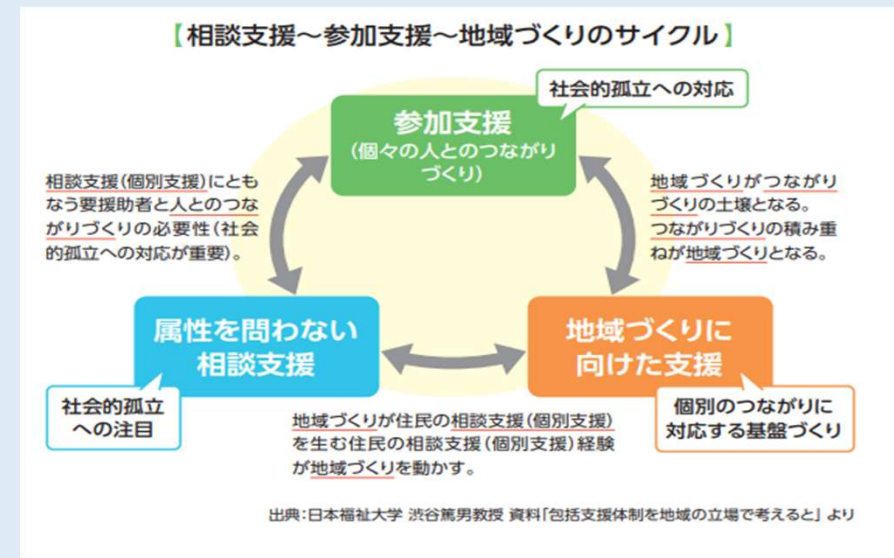
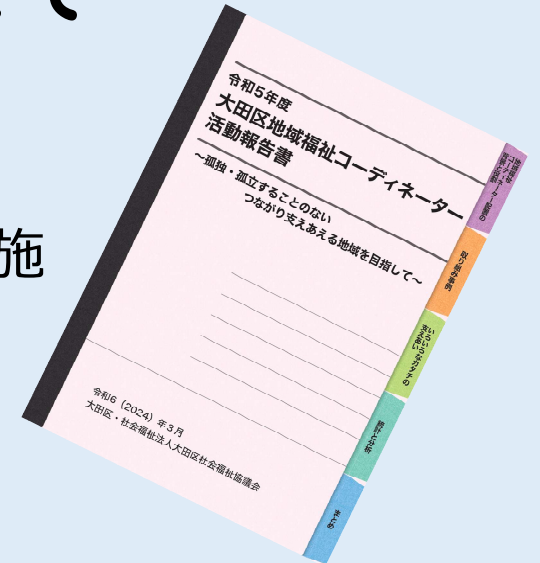
- ・ 地域福祉コーディネーター活動報告書の作成と報告会の実施
- ・ 4つの社会福祉法人による地域福祉コーディネーター

【令和4年度(2022年)】 13名

- ・ 重層的支援体制整備事業の受託開始(移行準備)

【令和5年度(2023年)】 15名(2名増)

- ・ 重層的支援体制整備事業の本格実施
- ・ 社会福祉法人協議会のエリア活動の本格化



# 大田区地域福祉コーディネーターのこれから

【令和6年度(2024年)】 16名(1名増)

## 今後の重点項目

- ① 身近な場で地域課題を多様な主体で検討できる**場の創出**
- ② 個別の課題・地域課題へ住民が関われる**仕組みづくり**
- ③ 住民主体を支える行政・社会福祉法人等との計画的な**連携の推進**

今後とも、皆様のお力をお貸しくください。一緒に考え・共に汗を流し  
大田区の地域の未来を一緒につくっていかせてください。